

3年総合的な学習の実践

1 ねらい

- (1) 自ら課題を見つけ，自ら学び，自ら考え，主体的に判断し，よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- (2) 情報の集め方，調べ方，まとめ方，報告や発表・討論の仕方などの学び方やものの考え方を身に付ける。
- (3) 問題の解決や探究活動に主体的，創造的に取り組む態度を育成する。
- (4) 自己の生き方についての自覚を深める。

2 実践内容

- (1) 東京自主研修（修学旅行）に向けての取り組み

研究テーマ

おもいやりの心をもって人とかかわり，新たな自己発見をしていけるようになる
～ 創意工夫した発表ができるようになる～

活動の概要

ア：興味・関心にもとづく個人テーマの設定

イ：個人での調査 個人発表会

ウ：ジャンル分け 概略テーマ決め

エ：事前調査 事前レポート作成

オ：訪問先の決定（話が聞ける・体験できる） 依頼状作成・発送

カ：訪問 まとめ 個人・グループ発表会

活動の実際

ア：ジャンル別訪問先

ジャンル	訪問先
報道 A（TV）	フジテレビジョン・TBS
報道 B（新聞・雑誌）	ビデオリサーチ・読売新聞ヨミブラザ・朝日新聞・集英社 Vジャン，Myojo，セブンティーン
産業・国際理解	横浜聘珍樓本店・東京税関 成田税関支所・日産本社ギャラリー・JICA国際協力事業団・アムラックストヨタ・フロムソフトウェア
芸術・文化	劇団 銅鑼・ブリヂストン美術館・東京都美術館・東京国立博物館・ハリウッド美容専門学校・吉本興業
政治経済・スポーツ	野球体育博物館・バタフライ道場・ミズノ・新東京郵便局



(フジテレビ スタジオ)



(集英社 セブンティーン)



(日産本社)



(ハリウッド美容専門学校)

イ：発表会

今回は、個人発表かグループ発表かを選択させて行った。予想以上にグループ発表が多かったが、個人発表でも、調査内容がより深められたものがあった。また、発表方法は7種類にわたり、創意工夫されたものがあった。聞く生徒は、聞きたい発表をタイムテーブルを見て選択した。

3年 しらはと発表会 タイムテーブル (当日版)								
		使用教室						
		1組	進路資料室	2組	3組	学習室	第1理科室	第2理科室
1回目	司会							
	9:00 ~ 9:05	SO YE EK MK HM	/	MK KA TO YK TS MT	WS	KN ZA TA SK YK YS	/	TK
	9:10 ~ 9:15			新東京郵便局	YA	/	YS	
訪問先	ブリヂストン美術館	JICA	集英社	フロムソフトウェア	東京都美術館他			
移動・準備 10分								
2回目	司会							
	9:25 ~ 9:30	YS	KO YO NK MT	ST	KK KK HA EK NS RS	MM	/	KK
	9:35 ~ 9:40	野球体育博物館		アムラックストヨタ	劇団鋼鐵	集英社		
訪問先	朝日新聞	吉本興業	野球体育博物館	ビデオリサーチ他	TBS		アムラックストヨタ	
移動・準備・休憩 15分								
3回目	司会							
	9:55 ~ 10:00	YO KS AW	YK	DK YI ST HS SN	MY	TS TI SI TY	/	SH
	10:05 ~ 10:10		バタフライ道場	集英社	SH	/	AN	
訪問先	フジテレビ	アムラックストヨタ	フジテレビ	朝日新聞	日産本社ギャラリー	TBS		
移動・準備 10分								
4回目	司会							
	10:20 ~ 10:25	TS	NO KI TO KT SH KM	SM	HS RI AT MM	HS	/	MN
	10:30 ~ 10:35	新東京郵便局		劇団鋼鐵	劇団鋼鐵	集英社		
訪問先	AK	東京税関	フジテレビ	ミスノ	朝日新聞		バタフライ道場	
移動・準備 10分								
5回目	司会							
	10:45 ~ 10:50	/	KK	YS RI KK SS MS HT	KT KI RI AS AN RH	AN	RS	YI
	10:55 ~ 11:00	/	バタフライ道場	横浜聘珍樓	集英社	野球体育博物館	アムラックストヨタ	アムラックストヨタ
訪問先	/	バタフライ道場	横浜聘珍樓	集英社	野球体育博物館	アムラックストヨタ	アムラックストヨタ	

発表方法

<p>・ レポート作成</p> 	<p>・ 紙芝居</p> 
<p>・ 劇</p> 	<p>・ プレゼンテーションソフト</p> 
<p>・ 模造紙</p> 	<p>・ ペープサート</p> 
<p>・ 実物を使って</p> 	

真剣に発表を聞く生徒

(2) キャリア教育への取り組み

研究テーマ

キャリア教育を意識して、より良い職業観が育つような授業を構築していく。

活動の概要

ア：労働者の権利

イ：職業適性検査

ウ：あしたをつかめ ～平成若者仕事図鑑～（ビデオ）

エ：自分史づくりと未来予想図

オ：社会生活とお金

カ：ゲストティーチャーから学ぶ

活動の実際

ア：労働者の権利

最低賃金や労働時間，労働災害，有給休暇についての理解を深めた。

具体的な事例を挙げながら，労働者の権利がどうなっているのかを考えた。

イ：職業適性検査（フレッシュワーク akita・遊学舎）

講話『自分の将来を考えてみよう！～進路を選択するときのポイントとは？～』と，コンピュータによる職業診断。職業診断は，適性検査から，自分に向いている職業をコンピュータが教えてくれるというものでした。生徒たちは，自分に向いている職業の解説を，印刷して持ち帰った。



（講話会）



（職業適性診断）

ウ：あしたをつかめ ～平成若者仕事図鑑～（ビデオ）

NHKで放送されている，「あしたをつかめ ～平成若者仕事図鑑～」をビデオに録画し，ライブラリー化した。

生徒が興味をもった職業について，各活動の合間に視聴し，見識を深めた。



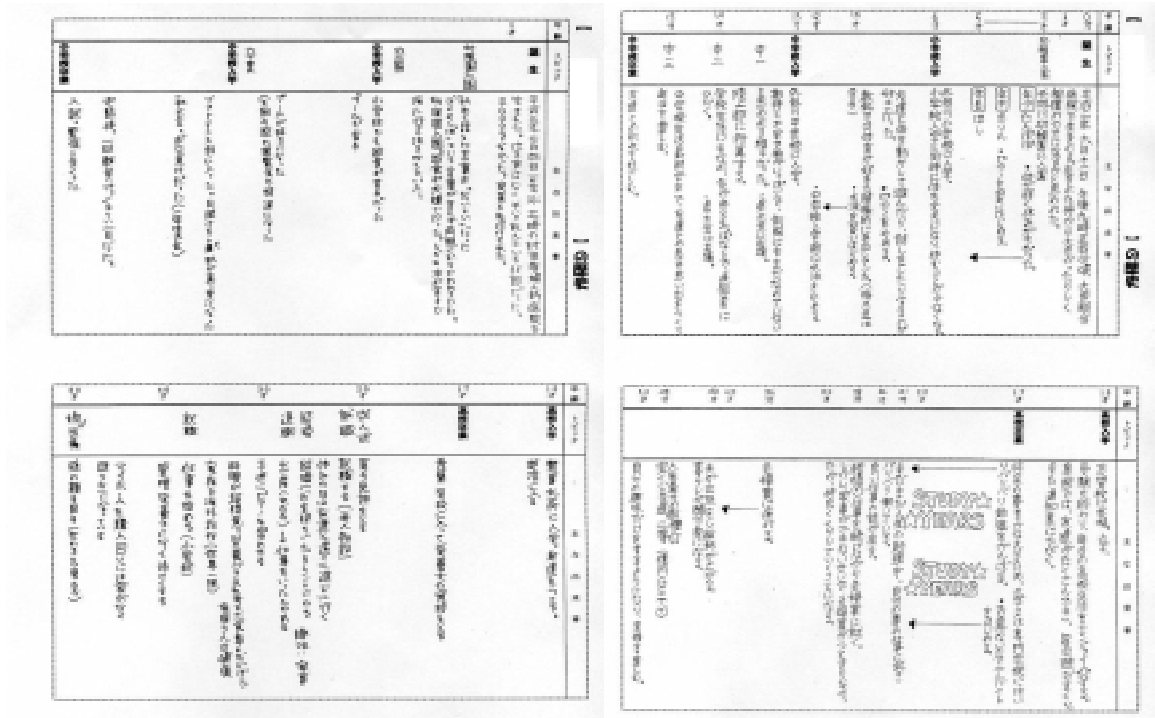
（ビデオ視聴）

進路指導ライブラリー		
あしたをつかめ ～平成若者仕事図鑑～		
V o l . 1		
1	サラリーマン（住宅営業）	16 グランドアテンダント
2	サラリーマン（雑貨商品開発）	17 獣医師
3	サラリーマン（生産管理）	18 看護師
4	サラリーマン（経理）	19 薬剤師
5	サラリーマン（広報）	20 理学療法士
6	サラリーマン（スーパーバイザー）	21 医療ソーシャルワーカー
7	レスキュー隊員	22 介護職員
8	ファッションバイヤー	23 地方公務員
9	漫画家	24 保育士
10	楽器職人	25 電気工事士
11	日本語教師	26 小学校教師
12	ホテルマン	27 路面標示施工技能士
13	鍼灸マッサージ師	28 お笑い芸人
14	栄養士	29 酒造り職人
15	声優	30 ランドスケープアーキテクト

（職業ビデオライブラリー）

エ：自分史づくりと未来予想図

生まれてから今までを 期，60歳までを 期とした。まず， 期について個人で調査し，将来の夢をもとに， 期について考えた。



(生徒の作品)

オ：社会生活とお金

自分たちの生活を「お金」を中心に据えて見直してみた活動である。前半は、今まで自分にかかった「お金」を考えた。自分が今、生活できていることをお金という視点で見直した。後半は、今後、自分たちが社会生活を営むためにかかる「お金」を考えた。労働者となり、しっかりとした収入がなければ生活が維持できないことを実感できたと共に、親に対する感謝の念も生まれたようである。

カ：ゲストティーチャーから学ぶ

警察官，消費者センター課長，救急救命士から，働くことについて学んだ。

警察官の時には護身術について，救急救命士の時には心肺蘇生法についての実習も行った。



(警察官)



(救急救命士)



(消費者センター 課長)

3 今年度を振り返って

前期は、東京自主研修の事後発表会に向けての準備と、発表が主な活動であった。昨年度から、個人やグループでの事前研修や発表会を重ね、より深まりのある研修になるように配慮してきた。しかし、事前と当日の研修と事後の調査を整理して発表することは、ほとんどできていなかった。導入段階で、この取り組みについての全体像を生徒につかませ、今、どの取り組みをしているのかを把握させながら進めていった方が良かったのではないかと考える。発表形態については、生徒が創意工夫したものが多く、聞いている生徒たちも集中して聞くことができていた。

後期は、キャリア教育を意識した計画を立案した。特に、今回は、「勤労観の育成」に重点を置いた。「勤労観の育成」とは、自分が社会のなかである役割を果たすことに喜びをもつことである。そこで、社会の中で働くとはどんなことなのか、働いている人たちはどんなことを考えているのか、自分は将来何ができるのかを考えていく指導計画を立てた。生徒たちは、「今、やらないといけないことがたくさんあることを知った。」「将来への期待が高まった。」「未来の自分に目を向けることができました。」「どの授業も今のうちに学んでいた方が、今のうちに考えていた方が必ず得をするものばかりだと思いました。」といった前向きな感想をもつことができた。今回の実践は、総合的な学習の時間だけの取り組みで、道徳や特別活動とのリンクができなかった。今後は、少しでも多くの先生がキャリア教育の考え方を理解し、他校とも情報交換をしながら実践を重ねていくことが、自分の進路に向かって力強く歩み出す生徒を育てることにつながるはずだと考える。